

「The "One" ジュニアゴルフトーナメント」 ありがとう「石川先輩」！ 高校生特別大会開催

新型コロナウイルスの影響で多くの大会が中止…真剣勝負の舞台を発案



記念写真に納まる石川（中央）右は男子の部優勝・鈴木隆太、左は女子の部優勝・桑木志帆



男子ゴルフの石川遼(29)が主催するジュニア大会「The "One"」が8月24、25の両日に横浜Cで行われ、男子は鈴木隆太(埼玉)、女子は桑木志帆(岡山)が優勝。

「石川先輩」の心意気に感謝し、ジュニアゴルフファアが躍動した。計83人が参加し、男女とも高校最後の夏となった3年生が制した。男子の部を制した鈴木は「試合がなくモチベーションが下がっていた。大会を開催していただいた関係者の皆さんに感謝します」と満面の笑み。最終日に8バーディーを奪った女子の部優勝の桑木は「石川プロにおめでとうと声をかけていただいていたし、何かできないか」と模索した。

8月開催予定だった全国高等学校ゴルフ選手権、そして日本ジュニア選手権と次々にジュニアゴルフファアが目指していた大会が中止に。自身も学生時代に出場し、日本一を目指した舞台がなくなっていく状況に「何かできないか」と模索した。

関係競技団体である日本ゴルフ協会や日本高等学校ゴルフ協会、日本ゴルフ連盟の賛同を得た上で、新たな大会の開催を決断。プロトタイプメント関係者への支援活動も行うなど、ゴルフ界全体のことを考える石川だからこその

「The "One"」は「出場機会を失った高校生ゴルファアたちに特別な舞台を」という一心で石川が発案した。

（上から）07年8月、全国高校ゴルフ個人戦の開催を終え、翌年に臨む石川。同大会は3アンダーの10位だった。団体戦の閉会式で、杉並学院高の副将（左）と組み合わせ抽選に臨む石川（右）

「ジュニアゴルファアが出場を予定していた多くの大会が中止などの措置を強いられ、貴重な真剣勝負の場を失っています。活躍できる舞台をわざわざ創出したいという思いから、大会実施に向け準備をスタートしました」。

石川は選手のPCR検査費用約400万円を負担するなどサポート。自らカーポートに乗ってラウンドを視察し「緊張感を感じる場をつくられて良かった。刺激も受けたし、今後のイベントにも参考になった」と話した。

大会名の「The "One"」は自ら考案。コロナ禍という未曾有の事態に、関係する競技団体が一つになり、今回一度しか開催しない大会をつくっていくという意味を込めた。

石川は選手のPCR検査費用約400万円を負担するなどサポート。自らカーポートに乗ってラウンドを視察し「緊張感を感じる場をつくられて良かった。刺激も受けたし、今後のイベントにも参考になった」と話した。

大会名の「The "One"」は自ら考案。コロナ禍という未曾有の事態に、関係する競技団体が一つになり、今回一度しか開催しない大会をつくっていくという意味を込めた。

後輩たちのために用意した舞台から「未来の石川」が羽ばたくことになる。

大会覇者の鈴木は進学し、桑木は来年のプロテストを受けるといふ。「石川さんは一番尊敬しているプロ」と鈴木が言え、桑木も「昔から日本のトッププレイヤー」といえば石川「プロ」と終始感激した様子。異例の夏となったが、心意気はしっかり伝わった。

大会覇者の鈴木は進学し、桑木は来年のプロテストを受けるといふ。「石川さんは一番尊敬しているプロ」と鈴木が言え、桑木も「昔から日本のトッププレイヤー」といえば石川「プロ」と終始感激した様子。異例の夏となったが、心意気はしっかり伝わった。

大会覇者の鈴木は進学し、桑木は来年のプロテストを受けるといふ。「石川さんは一番尊敬しているプロ」と鈴木が言え、桑木も「昔から日本のトッププレイヤー」といえば石川「プロ」と終始感激した様子。異例の夏となったが、心意気はしっかり伝わった。

大会覇者の鈴木は進学し、桑木は来年のプロテストを受けるといふ。「石川さんは一番尊敬しているプロ」と鈴木が言え、桑木も「昔から日本のトッププレイヤー」といえば石川「プロ」と終始感激した様子。異例の夏となったが、心意気はしっかり伝わった。

大会覇者の鈴木は進学し、桑木は来年のプロテストを受けるといふ。「石川さんは一番尊敬しているプロ」と鈴木が言え、桑木も「昔から日本のトッププレイヤー」といえば石川「プロ」と終始感激した様子。異例の夏となったが、心意気はしっかり伝わった。

大会成績
 男子の部(7207) 鈴木隆太(埼玉) 139(72、67) 久常涼(岡山) 141(72、69) 長野泰雅(沖学園) 141(72、69) 隅内雅人(水戸啓明) 141(68、73) 多田台(日本ウェルネス) 143(76、67) 新井龍紀(中部大) 143(72、71)
 女子の部(6601) 桑木志帆(岡山) 141(74、67) 岩井明愛(埼玉) 143(69、74) 越田泰羽(湘南学院) 144(74、70) 神谷(麗沢学院) 144(73、71) 高野愛姫(埼玉) 144(70、74)